

# 川崎市議会議員 いわくま ちひろ 学校ブロック塀の撤去

7月下旬の市議会文教委員会で、学校ブロック塀の撤去については、12月から来年1月から開始するとの答弁が教育委員会からありましたが、それについては、「遅すぎるので予備費や修正予算、災害時の緊急随意契約などあらゆる予算措置を講じて前倒しで実施すべきである」と強く求めてきました。



東京都発行の「東京防災」

市民だけでなく市職員も賛同する防災ブックですが、なかなか具体化しませんでした。防災に関する複数の情報を個別に配布するよりも、「東京防災」のように1冊にまとめた方が便利だと思っております。

結果として、9月上旬より梶ヶ谷小学校については撤去が開始されました(下の写真参照)。今後も、完成までの間しっかりと注視して参ります。

## 川崎版「東京防災」の作成を!

みなさんは、東京都が発行している

「東京防災」という単行本サイズの防災ブックをご存じでしょうか? 私は、数年前から、川崎版「東京防災」を作成すべきではないかと提案しています。

現在、市が発行している防災に関する広報は、「備える。かわさき」や「防災マップ」など多岐に渡っていますが、どれも市政だよりに類似したタブロイド紙のようなペーパーです。市民のみなさんにヒアリング調査を行ったところ、多くの方が廃棄したとのことでした。これでは、せっかく市が広報してもいざというときに役立ちません。



川崎市議会議員 いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 43歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中!(11年11ヶ月)



梶ヶ谷小のブロック塀が撤去されました写真上。9月17日撮影。下は撤去前の様子(8月)。完成まで注視していきます。

みらい川崎市議団  
連載No.109

また、市ホームページには、様々な情報が掲載されていますが、高齢者をはじめネット弱者と言われる方々には届きづらい状況です。東京都に確認したところ、当時の作成費は1冊あたり約324円でした。これを川崎市にあてはめると、72万7445世帯(9月1日現在)なので、約2億3500万円となります。